

令和3年度 狭山市立南小学校学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

- A：よくできている。(90%以上)
- B：概ねできている。(85%以上)
- C：あまりできていない。(70%以上)
- D：できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。(保ア1)	A	・校長の学校運営方針に基づき、全職員が学校運営に努めることができた。・ほとんどの児童が、学校に楽しく登校している。(保ア7:A 52.3%、B42.6%)	・安心して子供を任せられる学校を目指して先生方の協力体制が取れている点が素晴らしい。 ・学校が楽しいという子が多いのは素晴らしい。学校生活の基本である。 ・教職員の一生懸命な取り組みには感謝。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。(保ア7)	A	・教職員は学年で共通理解を図り、連携協力体制が機能した。(自2:A+B97%)	・アンケートなどに基づき重点を置く目標を明確にしている。 ・学校全体が明るく、清掃が行き届いている。
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。(自2)	A	・トイレ・流しの清掃が課題であったが、昨年より評価が12%上がった。(自46:A+B93%)	・学校全体が明るく、清掃が行き届いている。
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。(自46)	B	・無言清掃に取り組み、全職員で清掃を見届けていく。 ・学校施設の修繕に関して、わかりにくいという指摘があった。定期的に、優先順をつけて修繕している。	・お便りはとても楽しく拝見している。保護者に向けて校長の思いが伝わってくる感じた。
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。(保ア5)	A	・伝える手段を考えていきたい。	・コロナ関係で楽しみにしていた事が、中止・縮小になり、それがあたりまえという意識はあまりない。
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。(保ア3)	A	・体験活動や児童の興味・関心を重視した学ぶ喜びを味わわせる授業を行っている。指導に関して保護者から感謝の声が多い(保ア3:A31.3%+B62.7%)	・落ち着いた学習している様子が見受けられる。保護者アンケートから読書・家庭学習への取組をさらに先生方で検討していただきたい。教育環境の整備は市教委に頑張ってもらいたい。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。(自35)	A	・学習の決まりは昨年より評価があがり(自35:A+B96%)だった。引き続き学びの土台作りを行う。	・コロナ禍においてタブレットの持ち帰りが始まった。新しい取組へのご努力を感じる。児童館で宿題に取り組む姿もよくみられる。
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。(保ア8)	B	・家庭学習は課題であるが、昨年より4.4%あがった。(保ア11:A25.5%+B39.2%)	・市内、県内比較も確実に授業に反映していると思われる。
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。(自16)	D	・家庭と連携し、粘り強く取り組んでいく。	
	10	児童は、英語活動をおとして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(自14)	A	・英語活動に児童が楽しく取り組んでいる。(自14:A+B100%)	・英語の評価は高い。
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。(保ア9)	C	・あいさつや場に応じた言葉遣いは、C評価をつけた保護者が昨年より5.4%増え、課題である。お互いを思いやれる言葉遣いができるよう今後も継続的に指導をしていく。(保ア9:A+B78.4%)	・学校を訪問する毎に子供たちから元気な挨拶をしてもらっている。清々しい気持ちになる。全般的に規律ある学校生活が送れていると思う。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができる。(保ア9)	C	・日課を守って活動できた。(自3:A+B97%)	・校内ではよく挨拶してくれる。地域での挨拶がほほないので大人からも声をかけたいと思った。
	13	児童は、時間を守って生活している。(自3)	A	・基本的な生活習慣の定着(自36A+B96%)、静かな廊下歩行(自32:A+B88%)共に昨年より10%前後評価が上がった。まだまだ課題は残るが、全職員の共通理解・共通行動が改善へと繋がっている。	・言葉遣いについてはテレビや保護者の影響が大いにあると感じる。挨拶・言葉遣いについては小さいころからしっかり伝えていきたい。
	14	児童は、きまりを守って生活している。(自36)	A	・教師自ら学ぶ姿勢を持ち、自身の目指す教師像に向かって日々努力し続け、高い意識をもって職務に臨んでいる。(自1:A+B100%)	・学校を訪れるたびに気持ちの良い挨拶を子供から受けている。家庭や地域では見られなくても、するべきところではできているのではないかな。
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。(自1)	A		・アンケートで低い数値の所は、その認識をし、日々努力しているようなので頼もしく感じている。
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。(自22)	A	・コロナ禍の厳しい状況にある。2月現在、学級閉鎖2クラス、コロナウイルス感染者は22名であった。	・引き続き感染対策には留意し、これまでに築き上げてきた生活習慣を大切にしていほしい。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。(保ア12)	A	・体力向上の手立てに制限があるが、児童は外遊びや体育の授業に進んで取り組んでいる。	・いろいろな制限がある中、工夫して取り組んでいる。 ・コロナ禍において屋外活動は有効かと思われる。運動会等形を変えて実施されているなどご努力に感謝する。
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。(自20)	A	・運動会の代替行事にも積極的に取り組み、各学年・ブロック成果を出せた。保護者からもよい評価をいただいた。	・休み時間も外で遊ぶことが体力増進に努めていると思う。
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。(保ア2)	A	・コロナ禍で規制の多い中でも多くの行事や参観を行うことができた。取組に対して保護者アンケートでは感謝の言葉を多くいただいた。	・各種便り、ホームページ、PTA広報誌などを通して学校の様子を知ることができた。以前のように来校する機会が制限されない日を待ち望みたい。 ・今年度も学校見学をさせていただいてありがたかった。コロナが終息した際にはもっと関わりを持ちたい。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。(自48)	B	・学校応援団の活用は評価が47%上がった。(自48:A+B85%)	・限定されたボランティアにとどまらず、通年で活動していただくことができた。